

# 平成31年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社  
 コード番号 1999 URL <http://saita-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才田 善之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平山 繁之  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福  
 TEL 0946 22 3875

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年6月期第1四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第1四半期	1,261	1.1	150	83.1	175	114.9	111	177.1
30年6月期第1四半期	1,276	47.3	82		81		40	

(注) 包括利益 31年6月期第1四半期 112百万円 (204.8%) 30年6月期第1四半期 36百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第1四半期	176.48	
30年6月期第1四半期	63.69	

(注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年6月期第1四半期	6,115	2,470	40.4	3,918.13
30年6月期	6,026	2,383	39.5	3,779.96

(参考) 自己資本 31年6月期第1四半期 2,470百万円 30年6月期 2,383百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		40.00	
31年6月期					
31年6月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年6月期の1株当たりの期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年6月期の1株当たり年間配当金は40円となります。

## 3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,140	7.1	370	32.7	385	34.5	290	9.9	459.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期1Q	661,000 株	30年6月期	661,000 株
期末自己株式数	31年6月期1Q	30,506 株	30年6月期	30,506 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期1Q	630,494 株	30年6月期1Q	630,516 株

(注)当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 四半期建設事業受注の概況 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境改善を背景に、設備投資の増加や個人消費の持ち直し等、総じて緩やかな回復基調が続いておりますものの、相次ぐ自然災害の影響や、各国の政治情勢の変動、近隣における地政学的リスク等、依然として先行きに留意が必要な状況であります。

建設業界におきましては、災害復旧・復興事業等、一部地域においては公共投資が期待できるものの、資材価格や労務費の高止まり、熾烈な受注競争は依然として続いており、経営環境は不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、碎石製品等の販路拡張にまい進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は12億6千1百万円（前年同四半期比1.1%減）となり、営業利益1億5千万円（前年同四半期比83.1%増）、経常利益1億7千5百万円（前年同四半期比114.9%増）となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1千1百万円（前年同四半期比177.1%増）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第1四半期連結累計期間の受注高は13億1千7百万円（前年同四半期比55.8%増）、完成工事高は5億6千8百万円（前年同四半期比22.4%減）、営業利益は8千万円（前年同四半期比31.8%増）となりました。

(碎石事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は5億2千3百万円（前年同四半期比38.6%増）、営業利益は1億1千7百万円（前年同四半期比90.7%増）となりました。

(酒類事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は6千3百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業損失は1千2百万円（前年同四半期は営業損失1千万円）となりました。

(その他の事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は1億5百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は1千万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は32億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千8百万円減少いたしました。これは主に現金預金が8千7百万円減少いたしました。受取手形・完成工事未収入金等が6千7百万円増加したことによるものであります。固定資産は28億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千7百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億1千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、61億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は30億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千7百万円減少いたしました。これは主に支払手形・工事未払金等が1億6千7百万円、未払法人税等が1億7千9百万円減少いたしました。未成工事受入金が3億2百万円増加したことによるものであります。固定負債は6億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が5千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、36億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は24億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ8千7百万円増加いたしました。これは主に配当金2千5百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億1千1百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は40.4%（前連結会計年度末は39.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期決算発表時（平成30年8月17日）に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	1,885,247	1,797,360
受取手形・完成工事未収入金等	1,178,463	1,245,756
未成工事支出金等	207,302	186,673
その他	12,455	25,168
貸倒引当金	△2,855	△2,898
流動資産合計	3,280,613	3,252,059
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物(純額)	312,410	310,677
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	650,562	771,518
土地	790,994	790,994
リース資産(純額)	13,852	11,800
その他(純額)	23,578	22,749
有形固定資産合計	1,791,398	1,907,739
<b>無形固定資産</b>		
採石権	12,666	12,666
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	15,329	15,329
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	282,131	294,792
保険積立金	199,804	202,526
繰延税金資産	69,786	44,080
その他	448,861	459,861
貸倒引当金	△61,330	△61,330
投資その他の資産合計	939,253	939,931
固定資産合計	2,745,981	2,863,000
資産合計	6,026,595	6,115,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	706,819	539,367
短期借入金	1,643,492	1,663,859
リース債務	6,878	6,215
未払費用	154,981	70,352
未払法人税等	214,488	34,504
未成工事受入金	153,052	455,064
工事損失引当金	10,800	24,000
賞与引当金	6,482	25,928
その他	213,158	223,657
流動負債合計	3,110,153	3,042,948
固定負債		
長期借入金	354,114	410,236
リース債務	8,472	6,906
繰延税金負債	-	7,715
退職給付に係る負債	132,023	137,515
役員退職慰労引当金	34,526	35,317
その他	4,063	4,063
固定負債合計	533,198	601,753
負債合計	3,643,351	3,644,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	901,063	987,112
自己株式	△35,785	△35,785
株主資本合計	2,402,787	2,488,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,099	16,004
為替換算調整勘定	△28,643	△34,483
その他の包括利益累計額合計	△19,543	△18,478
純資産合計	2,383,243	2,470,357
負債純資産合計	6,026,595	6,115,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	733,182	568,965
兼業事業売上高	543,009	692,572
売上高合計	1,276,191	1,261,537
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	609,686	419,610
兼業事業売上原価	407,771	482,357
売上原価合計	1,017,457	901,968
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	123,495	149,354
兼業事業総利益	135,238	210,215
売上総利益合計	258,733	359,569
販売費及び一般管理費	176,441	208,882
営業利益	82,291	150,687
<b>営業外収益</b>		
受取利息	132	145
受取配当金	47	51
固定資産賃貸料	3,339	12,114
為替差益	4,442	7,615
持分法による投資利益	—	10,094
その他	2,331	3,865
営業外収益合計	10,294	33,887
<b>営業外費用</b>		
支払利息	5,082	5,575
持分法による投資損失	2,881	—
その他	2,793	3,107
営業外費用合計	10,756	8,683
経常利益	81,829	175,891

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	359	314
特別利益合計	359	314
特別損失		
減損損失	7,621	563
特別損失合計	7,621	563
税金等調整前四半期純利益	74,568	175,642
法人税、住民税及び事業税	10,743	33,896
法人税等調整額	23,666	30,476
法人税等合計	34,409	64,373
四半期純利益	40,158	111,269
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,158	111,269

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	40,158	111,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	843	6,904
為替換算調整勘定	△4,142	△5,840
その他の包括利益合計	△3,299	1,064
四半期包括利益	36,859	112,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,859	112,333
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	733,182	377,499	62,389	1,173,071	103,120	1,276,191	-	1,276,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,484	41,384	264	43,132	5,802	48,935	△48,935	-
計	734,666	418,883	62,654	1,216,203	108,922	1,325,126	△48,935	1,276,191
セグメント利益又は損失(△)	61,078	61,468	△10,316	112,230	11,863	124,093	△41,802	82,291

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額41,802千円には、セグメント間取引消去472千円、各報告セグメントに配分していない全社費用42,274千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、車両運搬具、管理備品及び長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては7,621千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	568,965	523,229	63,833	1,156,028	105,509	1,261,537	-	1,261,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,450	57,211	255	68,916	6,274	75,190	△75,190	-
計	580,415	580,440	64,088	1,224,944	111,783	1,336,727	△75,190	1,261,537
セグメント利益又は損 失(△)	80,513	117,237	△12,303	185,447	10,582	196,029	△45,342	150,687

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額45,342千円には、セグメント間取引消去472千円、各報告セグメントに配分していない全社費用45,814千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては244千円であります。

「その他」セグメントにおいて、工具器具備品の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては319千円であります。

3. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受注高	
	千円	%
平成31年6月期第1四半期累計期間	1,289,856	56.0
平成30年6月期第1四半期累計期間	826,796	78.2

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。  
 2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			平成31年6月期 第1四半期累計期間		平成30年6月期 第1四半期累計期間		比較増減 千円	増減率 %
			千円	%	千円	%		
建設事業	土 木	官公庁	828,470	64.2	485,783	58.8	342,687	70.5
		民 間	151,476	11.7	332,444	40.2	△180,967	△54.4
		計	979,947	76.0	818,227	99.0	161,720	19.8
	建 設	官公庁	230,950	17.9	8,524	1.0	222,425	2,609.2
		民 間	78,959	6.1	45	0.0	78,914	175,364.6
		計	309,909	24.0	8,569	1.0	301,339	3,516.4
	合 計	官公庁	1,059,420	82.1	494,307	59.8	565,112	114.3
		民 間	230,435	17.9	332,489	40.2	△102,053	△30.7
		計	1,289,856	100.0	826,796	100.0	463,059	56.0

- (注) パーセント表示は、構成比率であります。